



元気なまちを
あなたとつくる広報紙

SHINTOKU TOWN

<http://www.shintoku-town.jp/>

August 2016
(平成28年)
Since 1950
No.717



7月14日 大日本プロレス in しんとく
大迫力の試合に観客も大盛り上がり！

特集

合言葉は『人生最後まで新得町』
高齢者を支える仕組みを作る「生活支援コーディネーター」

合言葉は『人生最後まで新得町』

特集



高齢者を支える仕組みを作る 「生活支援コーディネーター」

進行する高齢化に対応するため、平成28年4月から「生活支援コーディネーター」が配置され、地域全体で高齢者を支える仕組みを作るための活動を行っています。

現在、コーディネーターがどんな活動を行い、どんな役割を担っているのかを紹介するとともに地域ぐるみでの支えあいを考えます。

「生活支援コーディネーター」とは？

年を取っても安心して暮らせる地域を目指し、地域全体で高齢者の生活を支えるためのネットワークを構築するのが目的です

生活支援コーディネーター

(町社会福祉協議会 係長)

池田 輝幸さん



2025年に第一次ベビーブーム世代(団塊の世代)が後期高齢者となり、日本の高齢者人口がピークになると予想されています。そうした中、認知症や一人暮らしの高齢者も増加すると考えられ、その生活支援や認知症にならないための介護予防が必要となつてきます。

このような状況に対応するため、平成27年4月に介護保険制度が改正され、地域での生活支援の充実・強化を図るため、生活支援コーディネーターの設置が決定されました。

生活支援コーディネーターは、地域全体での高齢者の生活支援や元気で生活していくための介護予防などの仕組みづくりを行っていきます。

コーディネーターの役割は？

生活支援コーディネーターの役割は、買い物ができない、「ミ」出しができないなどの日常生活の一部が困難になつても、可能な限り住み慣れた地域で安心した生活が送れる社会を実現するために、医療や介護のみならず、多様な介護予防や生活支援サービスの体制整備を推進していくことです。

現在の活動状況は？

現在は地域の日常生活ニーズ調査、高齢者支援、地域資源の状況を把握し、生活していく中で「どのようなく」困っているか、「近隣住民の関わり方」、地域で生活していくための問題」など『状況の見え方』を図っていきます。

年をとっても安心して暮らせる地域づくりを目指す

生活していく中で「どのようなく」困っているか、「地域の状況はどうか」など『状況の見える化』を行つた内容を町内会や老人クラブなどのなじみのある団体、ボランティア団体、企業行政などで構成する『協議体』で検討し、情報共有や地域の課題についての話し合い、地域資源の開発、地域の支え合い活動の推進などを行います。

『協議体』での検討が終わつた後に「既存団体の活動強化」や「住民の取り組みのサポート」「ニーズにあつた新しいサービスの提供」などの地域づくりの内容を具体化する『仕組みづくり』を行い、『年をとっても安心して暮らせる地域づくり』を目指していきます。

『協議体』で話し合う例

近所の助け合いを推進するには？

地域で集まれる場所を充実させるには？

積極的に外で活動してもらうには？

声かけ、見守りなどの日常化ができる？



地域の皆さんの協力も必要

『年をとっても安心して暮らせる地域づくり』を実現させるには、町民の皆さんの協力も必要です。

高齢者をサポートするのに身近なのは町内会の住民です。声かけやあいさつなどちょっとしたことの繰り返しでも高齢者の体調の変化などに気付くきっかけになるかもしれません。

また、草取りや除雪などのサポートを行うことによって、それが高齢者の会話の場や元気な高齢者には、体を動かす良い機会となり、介護予防にもつながります。元気な高齢者の参加によって、自分自身の介護予防となり、また、生活支援を行うことで、支援の仕方など、もし自分自身に支援が必要になった場合にはどうやって支援をしてもらえば良いかを学ぶこともでき、『まえ上手、支えられ上手』の増加にも繋がります。

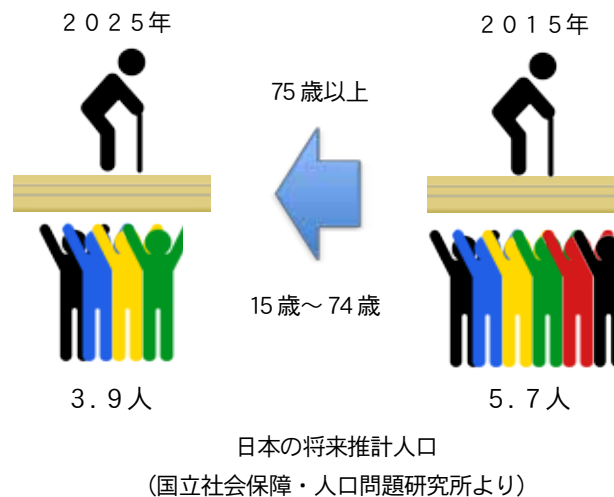


自分は何ができるかを考える

日常生活で支援が必要な高齢者を地域全体で支援する

2015年では、日本の75歳以上の後期高齢者1人を支える15歳～74歳の人数割合は5.7人となっていますが、2025年には3.9人となり、後期高齢者1人を支える人数割合は少なくなる予想されています。

こうした状況の中、日常生活を送るうえで支援が必要な高齢者を地域全体で支援することは、高齢者を支える世代の負担軽減や、高齢者自身が社会的活動に参加することにより、生きがいづくりや介護予防にもなります。

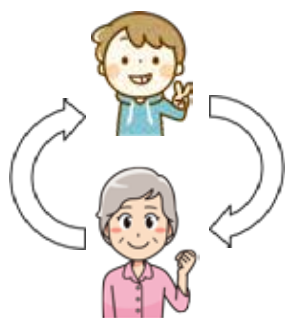


地域での支え合いの仕組みづくり

住民参加による支え合いの仕組みづくりは、元気なうちはもちろん、日常生活上の支援が必要になつても地域で役割を持ち続けられる住民活動の機会・場づくりを追求し、生活支援や介護予防などの助け合い活動に繋げていきます。

地域住民の参加を広げていけば、その地域のサポート力は高まり、日常生活を送るうえで支援が必要な高齢者も安心して暮らすことができるようになります。全てを地域住民で賄えるというわけではありませんが、少しでも地域の中で生活支援を行うことができれば、幅広い支援体制を築くことにつながります。

支え合いには、年齢も関係ないので、小学生から元気な高齢者まで年齢によらず参加し続けることができる住民全体のネットワークづくりを充実させていきます。



子どもからお年寄りまで支え合うネットワークをつくる



健康だより

NO. 45

年に1度のボディチェック！！ 特定健診を受けるとお得がたくさん♪

こんな声がちらほら・・・

健康だから
大丈夫！

忙しくてなかなか
行けない・・・



通院してるから健診
はいいよね！

ちよっと待った！

実はジワジワと生活習慣病へと 近づいているかも！

生活習慣病は症状が出るまでに時間がかかります。
「もう手遅れ・・・」なんてことにならないために
健診で体の中を調べて、早期発見・予防をしていき
ましょう！

集団健診だけじゃない！

受け方は3パターンもあります！

①集団健診 ②個別健診 ③情報提供（通院先）
仕事で忙しい方や通院されている方も
自分の都合に合わせて特定健診が受けられます！

通院と健診では検査目的が少し違います！

病院	→	主に「治療」のため
健診	→	いち早く体の異常を発見し 病気の芽を摘むこと！

通院中の方もぜひ主治医に相談を！

★ 健 診 お 得 ポ イ ン ト ★

こんなに効果がある！！

健診受診後に食事や運動など生活習慣に気をつけた結果・・・

Aさん 最高血圧 160台 → **120台に下がった！**

Bさん 体重 → **2kg痩せた！**

健康ポイントラリー対象事業です！

4つの健康ポイントをためると
スマイルチケットをプレゼント！

さらに

7つ以上健康ポイントを
ためると豪華健康グッズを
プレゼントします！

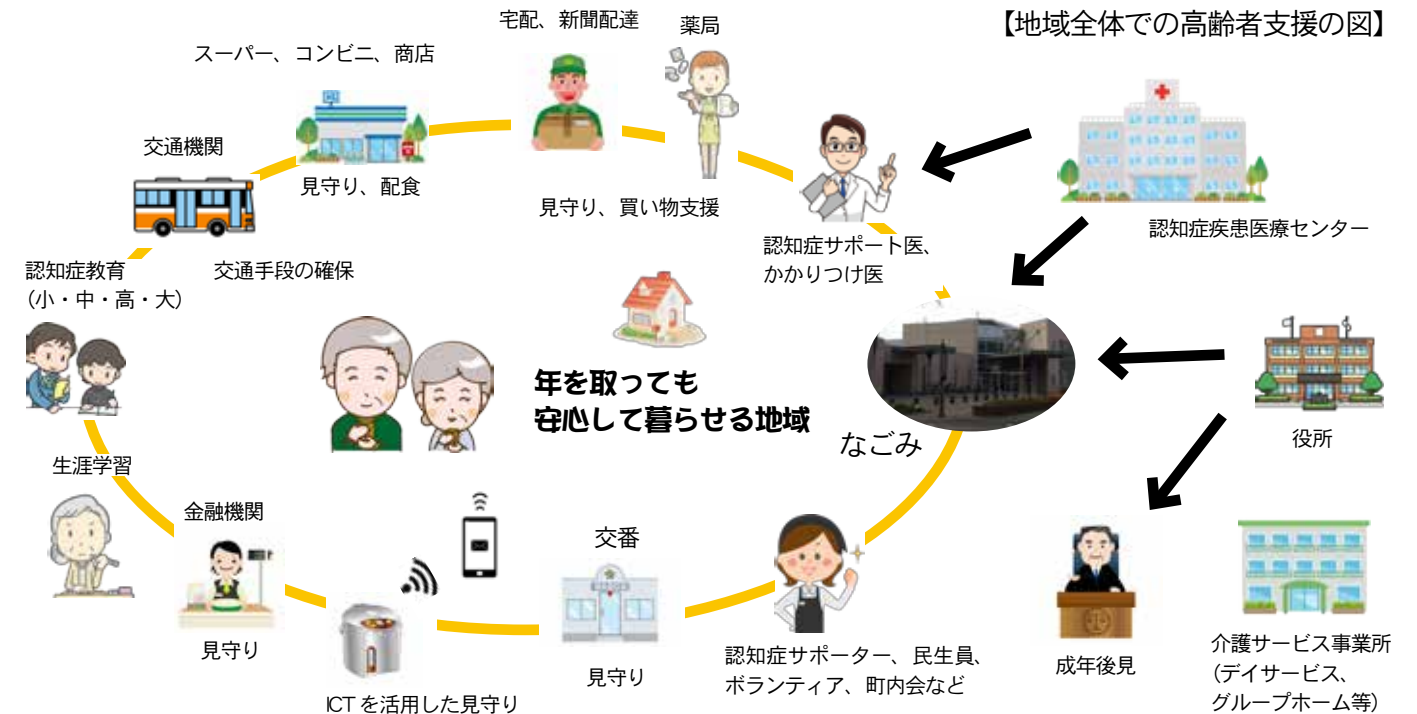


10月の特定健診・がん検診は**土日実施**となっています！平日はお忙しい方も
この機会にぜひ受診してみませんか？申し込みお待ちしております♪

町保健師



【地域全体での高齢者支援の図】



高齢者同士のサポート
元気な高齢者がボランティア活動を通して自身の健康増進と介護予防を図るとともに、高齢者同士の交流の場となっているのが『高齢者いきいきサロン』です。高齢

「自助」と「互助」を活用
上の図のような地域づくりの実現が生活支援コーディネーターの最終目標となっています。
地域の見守り、認知症サポーターやかかりつけ医による補助、商店や宅配による配食や買い物支援など地域全体での高齢者支援を目指していきます。介護サービス事業所や役所、医療センターは必要性があればサポートをする形で、必ずしもそこに頼らないようにしていきます。
健康で自分らしく暮らしていくために健康管理を行い、自立して生活が送れるようにする「自助」。しかし、「自助」はあくまで自分だけの力なので限界があります。行き詰まった時のサポートが必要であり、場合によってはサポートに回ることができ、人と人同士が支える「互助」が必要なのです。地域全体で高齢者を支えるためには介護サービスだけでなく、「自助」と「互助」を最大限活用していく必要があります。

人生最後まで新得町
『長生き・一人になっても・認知症になっても・障がいがあっても、人生最後まで新得町』を合言葉に生活支援コーディネーターは活動を行っています。
一人でも、認知症でも、障がいがあっても地域の支え合いによって最後まで住み慣れた新得町で生きがいを持って暮らしていくことができる。そうした地域づくりをみんなで目指していきます。



高齢者サロン交流会の様子

者いきいきサロンは町内に7箇所あり、65歳以上の高齢者が活動を行っています。
少し自宅にこもりがちだったり、時間がある方は参加してみてはどうでしょうか。
また、町内には地域サロン「ふらっと」と「あいの郷ふれあい」があります。ここでは、食事の提供もしており、誰でも気軽に利用できるので、地域住民の交流の場ともなっています。

問い合わせ
生活支援コーディネーターについてわからないことがある場合、また、制度説明等を希望される町内会等がありましたら、町社会福祉協議会（64-3253）までお気軽にご連絡ください。

生活支援コーディネーター
池田 輝幸
平成27年度介護保険制度改正により、高齢者の方がいつまでも元気に暮らせるよう「生活支援コーディネーター」を町からの委託により担うことになりました。
本事業は、困っている方のためだけでなく、支える側の生きがいづくり（社会参加）や介護予防のため、そして、自分が年を重ねても安心して暮らせる地域になるための「地域づくり」です。
これからも住み慣れた新得町で暮らしていくために、介護が必要になっても安心して暮らせる地域をつくるためには、町民の皆さんの力が重要です！今後、様々な場所で話をお伺いすることがあるかと思っておりますので、よろしくお願い致します。地域にとって必要なことを一緒に考えていきましょう。

町民の皆様へ

平成27年度介護保険制度改正により、高齢者の方がいつまでも元気に暮らせるよう「生活支援コーディネーター」を町からの委託により担うことになりました。



氷上かけそば早食い大会

↑ 7月31日
第22回新得そばの里まつり



そばの実割り箸つまみ

氷上かけそば早食い大会やそばの実割り箸つまみなどなど…
様々なイベントで盛り上がりました！



↓ 7月13日 LETS ラジオ体操



夏休みに始まるラジオ体操を前に正しいやり方を学びました！



↑ 8月2日 拓鉄公園自然探索



← 7月28日～30日
夏休みなかよし学習塾

100人の小学生が仲良く学んだ3日間。ペットボトルロケットづくりや理科実験。みんなでフォークダンスを踊ったり、いろいろなことを体験しました。



↓ 8月4日 夏休み工作教室

釣ったらバクンと食いつく「バクンさかなつり」
図書館司書のお姉さんたちに教わって思い思いのさかなを作りました。

きのご探しに昆虫探し、何を見つけられるかな？
ミッションやクイズに正解してお菓子をゲット！

夏真っ盛り！～楽しかった夏のイベント～

↓ 7月3日 ワイワイ・ビアパーティー



新得会場・屈足会場とも好天に恵まれ、
客足も上々！
おいしいお酒、おいしい料理に舌鼓を
打ちました！



↑ 7月16日 屈足さわやか
ビールパーティー

↓ 7月10日 新得幼稚園 セタまつり



↓ 7月15日 屈足保育園 夏のタベ



↓ 7月21日 新得保育所 セタ交流会



盆踊りにヨーヨー釣りなど夏祭り
らしい催しに楽しいひと時♪
友達や家族と一緒に大はしゃぎ！

↓ 7月28日 ビーバーたなばたまつり



プール遊びに花火、縁日、夏の定番をイイトコ取り！
スタッフの仕事も体験しました！

小・中学生が全道大会や気や北海道大会出場、屈足南小学校で第1回土曜授業が開催

新得中の5人が水泳・柔道で全道大会に出場

中体連十勝大会で優秀な成績を収め、全道大会の出場権を獲得した新得中学校の5人が7月22日、役場を訪れ、武田芳秋教育長に全道大会での健闘を誓いました。第37回北海道中学校水泳大会（7月29～31日、帯広市）に出場するのは、駒井杏樹さん（新中3年・100メートルバタフライ、200メートルメドレー）、高野裕くん（同・200メートル自由形、400メートル自由形）、名和真輝くん（同・50メートル自由形、200メートルメドレー）の3人、第44回北海道中学校柔道大会（7



音別ヤングーズに13対2、準決勝で札幌代表の西琴似パンターズに3対2、決勝では日高代表のJBC日高ブレイブと対戦し、0対8で敗退し、惜しくも準優勝でした。



後列左から武田教育長、箕浦くん、水戸部さん、石割校長、前列左から駒井さん、高野くん、名和くん

月30～31日、登別市）に出場するのは、水戸部柚那さん（新中3年・63キロ級）、箕浦翔太くん（同2年・73キロ級）の2人。駒井さんは「最後の中体連なので、決勝に残れるよう頑張りたい」、高野くんは「去年は決勝に残れなかったので、今年も決勝に残りたい」、名和くんは「自己ベストを1秒でも更新できるように頑張りたい」、水戸部さんは「去年は決勝に進めなかったので、今年も決勝まで行けるよう頑張りたい」、箕浦くんは「来年に繋がるような試合ができるように頑張りたい」と意気込みを語りました。

全道大会での成績は、駒井さんが100メートルバタフライで11位、200メートルメドレーで11位、高野くんは200メートル自由形で12位、400メートル自由形で10位、名和くんは50メートル自由形で17位、200メートルメドレーで13位、水戸部さん、箕浦くん共に準決勝で惜しくも敗退し3位でした。

初の土曜授業

屈足南小学校で第1回土曜授業が開催

屈足南小学校土曜授業が7月8日に行われ、1年生～6年生までの44人が参加。初の土曜授業でしたが、ボランティアや保護者も参加して賑やかな第1回目の土曜授業となりました。

1年生～3年生は金田ベリール園（金田かつ子代表）を訪れ、育てている果実の話を聞き、それを試食。その後、一人ひとりがカップを持ち、そのカップいっぱいのはスカップ（全体で2200グラム）を収穫し、学校に戻ってそのうち800グラムを使ってジャム作りを行いました。（余ったものは冷凍保存）

4年生～6年生は、JA青年部の2人（井上和哉さん、平一真さん）から現在生育中の小麦の苗を見せてもらったり、小麦の品種や栽培方法などを学んだ後、パンケーキづくりを行いました。

最後に参加者全員で、作ったパンケーキとジャムの試食をし、児童は「おいしい。おいしい」と言っていて、あつと言つ間に食べ終わっている児童もいました。おかわりがあると知ると我先にとおかわりに向かっていました。



パンケーキとジャムをみんなで試食



パンケーキづくり（4年生～6年生）



ハスカップ収穫（1年生～3年生）

小・中学生が全道大会や北北海道大会出場

さまざまなスポーツで頑張っています！

小・中学生が全道大会や北北海道大会出場

屈南小6年生の2人が陸上競技で全道大会出場



大森さん（中）と浪岡くん

第34回北海道小学生陸上競技大会十勝予選会（6月18日、帯広市）でそれぞれの種目で第1位を獲得し、全道大会（7月17～18日、旭川市）の出場権を獲得した屈南小6年生の浪岡大裕くん（大森奈々さんが7月12日、町長室を訪れ、浜田正利町長に全道大会での健闘を誓いました。走高跳びとジャベリックボール競技に出場する浪岡くんは「メダルを取りたい。もし取れなくても自己ベストを出したい」、また、走り幅跳びに出場する大森さんは「自己ベストを伸ばして、入賞できるように頑張る」と意気込みを語りました。全道大会での成績は、浪岡くんが走高跳びで1メートル20センチを記録し16位、またジャベリックボールで51メートル52センチを記録し4位でした。大森さんは走高跳びで3メートル74センチを記録し30位でした。



第13回全道少年U-10（10歳以下）サッカー北北海道大会十勝地区予選（6月26日、帯広市）でベスト8に入り、北北海道大会（7月16～18日、帯広市）の出場権を獲得したしんとくサッカー少年団（北野翔汰主将）の16人が7月12日、町長室を訪れ、浜田正利町長に北北海道大会での健闘を誓いました。北野主将は「みんなで協力して点を取り、優勝したい」と力強く意気込みを語りました。北北海道大会の成績は、予選リーグで3チーム中2位となり決勝トーナメントに進出しベスト16入りしました。

北北海道大会に出場
ベストを尽くして大健闘

りしましたが、1回戦で今大会3位になった旭川北鎮J.F.Cと対戦し2対3で惜しくも敗退しました。

第17回全国小学生ABCバドミントン大会北北海道予選会（6月25～26日、稚内市）に出場した富村牛小4年生の愛澤琉衣さんと同小2年生の愛澤豊季くん姉弟が7月12日、町長室を訪れ、浜田正利町長に北北海道大会の結果報告をしました。琉衣さんは小学生B（3、4年生の部）のシングルスに出場し、予選リーグで3位となり決勝トーナメントに進出しましたが、下位トーナメント（各リーグの3、4位）で1位となりました。豊季くんは小学生C（1、2年生の部）のシングルスに出場し、予選リーグで2位となり、決勝トーナメントに進出。惜しくも1回戦で破れ、ベスト8でした。琉衣さんは「敢闘賞をもらうことができて嬉しかった」、豊季くんは「強い人とやったら、強い打球を返すことができた」とベスト8に入れたのが嬉しかったと話していました。

また、同大会には新得小2年生の池田壮佑くんも小学生Cのシングルスに出場し、予選リーグで4位となり決勝トーナメント進出を逃しました。



琉衣さん（左）と弟の豊季くん

野球少年団が
全道少年野球大会に出場

第45回全道少年野球大会十勝支部予選（7月2～3日・9日、新得町・帯広市ほか）で6試合を勝ち抜き見事優勝し、全道大会（7月29～8月3日、札幌市）の出場権を獲得した新得町野球少年団（五十嵐翼主将）の18人が7月20日、役場を訪れ、浜田正利町長に全道大会での健闘を誓いました。五十嵐主将は「新得らしく元気よく声を出し、相手にプレッシャーをかけながら、一本のヒットで足を絡めて点を取りにいきたい。優勝したい」と力強く意気込みを語りました。

全道大会での成績は、1回戦で南空知代表の三川フエニックスに7対0、2回戦で旭川代表の当麻野球少年団に4対0、準々決勝で釧路代表の

逃しましたが、下位トーナメントで2位になりました。

町にどのような高校が望ましいか検討

町立高校対策専門員に村田尋如さんを任用

平成28年2月に行われた町立高校設置検討についての町民意見交換会での「詳細を示して意見交換するべき」という意見を受け、町にどのような高校が望ましいか検討していくため、7月1日に町立高校対策専門員として、村田尋如さんを任用しました。

村田さんは、これまで北海道有朋高等学校校長や教育指導監など、北海道教育委員会の数々の要職を歴任してきました。

今後、専門員のみならず、役場での連携も強化し、町立高校設置に関する地域への効果や負担などを調査していきます。また、将来の町における高校教育を町民の方々と描くため、教育内容に関するアンケートなどを実施し、意見をいただきながら町立高校設置について検討していきます。

学校像や効果、負担などがある程度まとまった時点で、再度、町民の方々との意見交換会を開催し、意見を聞く予定となっています。



そば祭りなどイベントの際に活用を
ユイマール事業協同組合が
イベント用備品を寄贈

ユイマール事業協同組合（根本健代表理事）が7月26日、町長室を訪れ、浜田正利町長にイベント用のテーブル・イス・パラソルのセット10組の目録を手渡しました。

同組合は、町内の土建業者など8社で構成する組合で、町のゴミの収集や町道の草刈などを請け負っています。

根本代表理事は、「今年で組合設立10年目になる。こういった取り組みは、毎年できることではないが、町への恩返しとしてそば祭りなどのイベントの際に使って欲しい」と話していました。

214人の冥福祈る

新得町戦没者追悼式



町戦没者追悼式が7月11日、町公民館で行われ、町出身戦没者の遺族や役場関係者ら約80人が参加し、214人の冥福を祈りました。

黙とうに続き、浜田正利町長が「これまで先人が築きあげてきた富を後代へ継承し、命の尊さを語り継いでいく。戦争という過ちを2度と引き起こさないよう努力をしていかなければならない」と式辞を述べ、町遺族会の北敏夫会長が「後代へ伝統、文化を継承していく。町の一人ひとりの幸福を目指し、努力し、2度と戦争のような悲惨な事例を引き起こさないよう尽力したい」とあいさつしました。

特別支援教育の充実を図るため

新得高等支援学校協力を設立

新得高等支援学校協会の設立総会が6月2日、同校で行われ、会長に赤木英俊さんが選出されました。

本協力は、在籍する生徒の職業自立や社会自立・参加に向けて、町、学校、事業所、企業、関係機関が連携し、教育活動や地域の特別支援教育の充実を図ることを目的として設立され、福祉・経済関係者など総勢25人でスタートしました。

主な事業として、町内の小学校新1年生に校内作業学習で作成した入学記念品をプレゼントする「さくらプロジェクト」や実際の職場での仕事を通して、仕事に対する心構えや態度、仕事の大切さを学ぶ「現場実習」などへの支援を行っている。



選出された赤木会長

飲酒運転根絶へ

新得町交通安全推進協議会が旗波作戦を実施



昨年12月に道で飲酒運転根絶条例が制定され、「飲酒運転根絶の日」となった7月13日、町交通安全推進協議会主催の旗波作戦が行われました。

この取り組みには新得町高齢者交通安全クラブ、新得交通安全協会、新得町交通安全指導委員会、新得町女性ドライバークラブから約80人が参加し、公民館横の国道38号線に「やめよう飲酒運転」などと書かれた旗を持って立ち、飲酒運転根絶を訴えました。

また、同日に町女性ドライバークラブが狩勝峠下の駐車場と同様の取り組みを行いました。

多くの人に知ってもらいたい デフサッカー講演会



講演を行った深川さん

デフサッカー講演会が7月31日、町公民館で開かれ、約20人が参加。講師として、元プロサッカー選手・現デフサッカー日本代表スタッフの深川友貴さんを迎え、「デフサッカーが普及・発展してくには」というテーマで講演をいただきました。

デフサッカーは、聴覚障がい者が行うサッカーのことで、プレー中は手話やアイコンタクトで意思疎通を図っています。

講演会では、深川さんがデフサッカーと出会ったきっかけやワールドカップの様子、練習などに触れ、「少しでもデフサッカーを知ってもらい、広めてもらいたい」と話していました。

広報モニターからの声

広報モニターさんから「広報しんとく7月号」を読んだ感想・ご意見をいただきましたので、その内容をお知らせします。

▼特集記事で、資源・リサイクルについて多くの場合、ゴミの分別やリサイクルは環境保全の観点から話される場合が多く、リサイクルゴミを町外に出すことで町の負担を減らすという発想には至りませんでした。新得町規模での視点を持つことができ、改めて分別やリサイクルについて考えていけると思います。しかしながら、リサイクルや分別はゴミ問題の根本的解決にはならず、レジ袋の有料化は浸透してきたとは言え、商品そのものの過剰包装や業者の不要なサービス、それを求める消費者が根底にあり、変革を求められる事案だと思っています。

▼収納率が99%以上とかなり高い数字と感じられました。もちろん100%であることが理想ではあります。その反面、滞納繰越分の収納率が著しく低いことが気になる。数字上では町の一部の人が払っていない、不払いが続いていると見えました。原因究明はすることながら、仮に社会的問題が

はらんでいた場合（高齢化や貧困化）、町全体で考えていかなければならない問題であると感じました。

▼ボイスー町の声のページに空白が多く、ほかのページがぎっしりと詰まっているため少し物足りない感じがしました。

▼ゴミや税、支援高校の開校や選挙、生活に密着した内容で非常に読み応えがありました。まだ夏の陽気もそこそこで、秋に行われるそば博覧会も遠くのことと想っていました。開催まで2ヶ月とカウントダウンが始まっているのだなと感じます。

▼温水プール「ビバー」の50万人達成の現場にたまたま居合わせました。生徒に合わせたきめ細かい指導が行き届き設備も充実したプールです。町民大学は中学生以下は受講料が免除されるため、登録料500円だけで開講中継続することができ。素晴らしい制度ではあります。都心部では月額1万円近く払い、施設ももっと古く、生徒数の多いところで練習をします。同じようにしると思いませんが長く利用したいからこそ、もう少し徴収してもいいのではないかと思います。



関本大介選手と給食



大迫力の蛍光灯デスマッチ

交流に試合に大盛り上がり

大日本プロレス in しんとく開催

大日本プロレス in しんとく開催にあたり、小・中学生にもプロレスを知ってもらいたいということでアブドーラ・小林選手、関本大介選手、岡林裕二選手、フランク篤選手の4人が新得小学校・中学校を訪問。小学校では、給食と一緒に食べ、腕相撲を行ったりし、児童の中にはサインをもらいに走り回っている子もいました。中学校では、数学の授業に参加したり、女子生徒をお姫様だっこする場面も見られました。

夜に行われた試合では、小中学生も多く来場し、会場は約340人の観客で満員となりました。試合前に行われたプロレス教室には子ども11人が参加し、関本裕二選手とロープワークを練習。練習後にはシールがプレゼントされました。

試合が開始されると観客は試合に熱中。コールや手拍子を行うなど会場は一体となって盛り上がり、観客は息を呑む緊迫した試合に見入り、ちょっとしたコミカルな試合では笑いも起きていました。



3年生の行灯



OBの行灯

力作の行灯をお披露目

第53回新高祭りあんどんパレード

新得高校（青山和弘校長）の第53回新高祭「3 Shine ～この青春を心に刻め～」が7月9日、10日の両日にわたって行われました。

1日目の夕方には、各学年がこの日のために作った行灯3基と新得高校OBが製作した行灯1基の合わせて4基が市街地を練り歩き、アピール会場であるなごみ前駐車場を目指しました。

アピール会場には、大勢の住民や保護者が集まり、到着を心待ちにしていました。会場に着くと生徒やOBらが行灯とちぎり絵のテーマ、力を込めた部分などを紹介し、観客からは拍手や歓声が送られていました。

【各学年のテーマ】

1年生（17人）「Plus Ultra ～さらに向こうへ～」

2年生（22人）「スクールトリップ（修学旅行）」

3年生（26人）「鷹～Higher&Higher～」

話題のアルバム



苦かった！ 大丈夫だった！

新得高校茶道部がなかよしを訪問

新得高校茶道部（松井飛鶴部長、部員5人）の部員3人が7月20日、こどもセンターなかよしでお茶会を開き、1年生～4年生までの約20人が参加しました。

児童らは、茶道部員からお茶の作法などを学んだ後に甘いお菓子を食べ、点ててもらったお茶で一服。作法に苦労しながらも上手にお茶を飲んでおり、「苦い」、「大丈夫」などそれぞれ感想を言っていました。

松井部長は「子ども達に教えるのは初めてなので、緊張したが、なんとかできたから良かった」とホッとした様子。お茶会の後は魚釣りゲームを行い、児童らと交流を深めていました。

トドックが「ありがとう」を伝えた

トドックがそばの館を訪問

コープさっぽろのマスコットキャラクターのトドックが7月22日、そばの館を訪問しました。

コープさっぽろの宅配システム「トドック」が今年10月に10周年を迎えるにあたり、全道の市町村を回って感謝を伝える「トドックスマイルキャラバン for 179」を実施しており、その一環として訪問。本町は73箇所目の訪問となりました。

そばの館では、コープさっぽろの慶伊善紀さんから浜田正利町長に感謝状と記念品が手渡され、そばの館の清水輝男社長と本町のマスコットキャラクターの山グリーンを含めての記念撮影も行われました。



綺麗な音色に聞き入る

第105回新内ホールコンサート

第105回新内ホールコンサートが7月4日、同ホールで行われ、観客約50人が綺麗な音色に聞き入りました。

今回は、「THE サウンド・オブ・フルート～クラシックから現代音楽まで、彩り豊かなフルートの革命！～」と題し、《フルートレボリューション from 札幌》が低音から高音までのフルート属の様々な楽器（ピッコロ、フルートなど）を駆使し、『くるみ割り人形』など10曲を演奏しました。

観客は演奏が始まると静かに聞き入り、新内の自然と演奏の調和を楽しんでいました。

さくらんぼ取れたよ！

新得保育所、新得幼稚園の園児がさくらんぼ収穫

新得保育所と新得幼稚園の園児が7月5日、役場南側に植えられているさくらんぼの収穫に訪れました。

この桜の木は新得町と友好都市の提携をしている東根市から寄贈されたもので、毎年実がなる時期に園児を招いてさくらんぼ狩りを行っています。

雨で実が割れているものもありましたが、綺麗なものを吟味し、さくらんぼを収穫。園児は取ったさくらんぼを自慢し合い、笑顔を見せていました。

また、7月8日には、屈足保育園の園児が屈足支所を訪れ、玄関前のさくらんぼの収穫をしました。



笑顔を見せる新得保育所の園児



ベストを尽くそうと懸命な走り

第33回狩勝サマーロードレース

第33回狩勝サマーロードレース（町陸上競技協会主催）が7月17日、サホロリバーサイド運動広場芝生ランニングコースで行われ、道内各地から集まった小学生から70代までの180人（町内15人）が出場しました。

競技は、1.7km、2.5km、3.5km、5.275km、10.549kmの5種目で学年や年齢別でタイムを競いました。

この日は、走ると温かいくらいの涼しい気温で、選手にとっては走りやすい環境に恵まれ、選手たちは自分のベストを尽くそうと懸命な走りを見せていました。

さまざまな楽器で織りなす音色で小旅行

ウバシクマ LIVE in しんとく

アジア・アフリカなどさまざまな民族楽器を演奏する3人組のバンド「ウバシクマ」のライブが7月15日、新内ホールで開催され、約50人の聴衆が来場しました。メンバーのみでの演奏のほか、特別ゲストに歌手のおおたか静流さん、馬頭琴・喉歌（ホーミー）奏者の嵯峨治彦さん、テルミン奏者の児嶋佐織さんを迎え、さまざまな楽器が織りなす音色、独自の世界観に聴衆は、異国の地へ誘われるような感覚の中、心地よい音色に聴き入っていました。



子どもからお年寄りまで真剣勝負

第4回屈足地域運動会

今年で第4回目を迎えた屈足地域運動会（実行委員会主催）が7月31日、屈足南小学校体育館で行われました。

今回の運動会には2歳～82歳まで屈足地域の住民約90人が参加し、4チームに分かれて真剣勝負が繰り広げられました。熱戦に勝利したのは、青チーム。抜群のチームワークを発揮し、優勝を勝ち取りました。

運動会の後には、外での交流会があり、そばやうどん、焼き鳥、トムラウシそばろごはんなどのおいしい料理を頼張りながら交流を深めました。

佐藤幹也実行委員長は、「この運動会は、子どもからお年寄りまでが楽しめる競技が揃っているため、毎年同じようなメンバーが来てくれている。幅広い年代が交流する良い機会なので、また来年も多くの方に参加してもらいたい」と話していました。

話題のアルバム

歌を通じて楽しい仲間づくり

第4回チャリティー新得歌謡合同発表会

第4回チャリティー新得歌謡合同発表会（同実行委員会主催）が7月24日、町公民館で開かれ、400人を超える観客で席は埋め尽くされました。

今回の発表会には、29組32人が参加し、迫力のある歌声や綺麗な歌声を披露しました。また、賛助出演として春桜会による舞踊、手話コーラスの会による手話コーラスも行われました。

また、今回はゲスト出演として松坂真理子さん、北山れいさんによる歌謡メドレーも披露され、会場は大盛り上がりでした。

同発表会では、チャリティー募金も行っており、集まったお金は社会福祉協議会へ寄付されました。



自分だけの絵本づくり

世界で一冊！自分だけの写真絵本を作ろう！

芽室町在住の写真家、小寺卓矢さんを招いての講演会とデジカメ写真絵本作りが7月31日、町図書館で開かれ、幼児から大人まで8人が参加しました。

小寺さんからデジタルカメラの扱い方や写真撮影のコツについて説明を受け、小寺さんが写真を撮り続けている阿寒の森をスライドで紹介後、町内の拓鉄公園に移動。公園を散策しながら、一人ひとりが決めたテーマを感じる様子を写真に収め、言葉を書き添えて絵本を完成させました。

参加した桶屋凜華さん（4歳）は「かわいい写真が絵本になって楽しかった」と話していました。

まちの出来事をピックアップ

町を盛り上げよう

GANKEFES（ガンケフェス）2016 が開催

町を盛り上げようと食、音楽、アートなどを行う「GANKEFES（ガンケフェス）2016」が屈足湖に面する崖（ガンケ）の袂で行われました。

このイベントは、2014年から開催されており、今年で3回目。鳥本純平さんと友定雄平さんのユニット「TORIXSADA」が主催しています。

イベントでは、メインステージで、毎年参加の祭太郎さん（司会、パフォーマンス）やお笑いコンビ「エレキコミック」のやついいちろうさん（DJ）、大宮エリーさんなどの多彩なアーティストが登場し、会場を盛り上げたほか、湖でのカヌーやクライミングタワーでのロッククライミングの体験も行われ、家族連れや若者などで賑わいを見せていました。

町からは、飲食店エリアに共働学舎、ドリームヒル・トムラウシ、小柳食品、しんとくバーガー（JA青年部）、原農場、上田精肉店が参加。イベントエリアには、とかちアドベンチャークラブ、陶芸センターが参加し、イベントの盛り上げに貢献していました。

また、この日は晴天に恵まれ、お酒を片手に焼肉をする参加者の姿も多く見られました。

今年から夜の部も開設され、イベントを楽しんだ後にテントを張って泊まることができるようにキャンプエリアも設けられ、20組程が利用していました。



しんとく焼きの絵付け体験



大宮エリー with コトリングのライブ



町長室から こんにちは

新得町長 浜田正利

最近の出来事を話題に複数の方と意見交換をしましたが、今後の事もあるので皆さんに三点お知らせします。

一点目は「仕事の検討を進めるための入り口の在り方」で意見が分かれました。私の意見は「一般論として、事業について事務方で検討を進めた上で、事業効果などを含め事業内容について町民の皆さんに素案（たたき台）として公表し、さらに議論を深め最終的にどうしていくか決める」でした。他の方の意見は「検討を進める必要があるかないかを決めてから検討に入るべき」との事でした。事業にもよるかもしれないとの意見もありましたが最後まで平行線で、正直そこまでこだわる必要があるのかと感じましたが、入り口はどちらが良いのか若干迷っています。

二点目は、「英国のEUからの離脱が残留について、二者択一の国民投票で決めたこと」でした。国の今後の進むべき道を自国民が決めることに关しては当然ですが、「二者択一」を選択した「入

り口」がどこだったのか、同席した者が悩んで終わりました。また、最近話題になっている「憲法改正議論の入り口」を考えてしまいました。

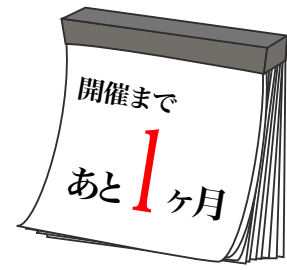
三点目は、参議院議員選挙で、北海道選挙区の立候補者が、選挙戦は札幌を中心にした人口が多い都市部重点で、新得のような田舎には遊説に來なかつた事でした。細かく把握していませんが、同じように遊説が來なかつた自治体が相当数あるようです。選挙戦の戦い方を考えると地方を省いて都市部重点にならざるを得ないとの声もありましたが、立候補者の生の声で、何を訴えているのかを聞きたかつたところで、また、遊説に來なかつた理由について、機会があれば本人に伺いたいと思っています。なお、18歳から投票ができる初めての選挙になりましたが、新得町では有権者81人（うち高校生は13人）に対し、44人（うち高校生は7人）の投票がありました。投票率では約50%ですが、個人的にはもう少し投票率が上がるのではと期待していただけに残念な気持ちと同時に、投票率の低い原因は何なのかと考えさせられています。

平成29年度の職員採用の準備を進めています。今後の退職者、将来の職員体制を考慮し一般事務3、4名、保健師2名、建築技師1名、保育士2、3名の予定で準備を進めています。三世代が集い、暮らしていくうえにも皆さんの子ども、孫、親戚に応募していただきたいと思っています。

第15回 しんとく新そば祭り 併催

第22回 日本そば博覧会 in 十勝新得町

平成28年9月19日(日)～9月25日(日)
新得町保健福祉センター「なごみ」前駐車場 他



そバルと落語で そばの町を楽しむ一夜

9月21日開催!!
8月15日から前売り販売開始

9月21日に町内の飲食店20店が参加する「そバル」が開催されます。この「そバル」は参加店を「はしご」するのが基本スタイルで、3000円（前売り価格。当日券は3500円）のチケットを購入すると指定店1店とお好きな3店を回ることで、各店で「そバルメニュー」（フード1品とドリンク1杯）が楽しめます。さらに特典として駅前温泉（公衆浴場）の入浴券（1ヶ月間有効）が付いてきます。

日頃は郊外にあるお店もこの日は、駅前でテントや空き店舗などで臨時営業します。いろいろな店のものを食べたり飲んだりしてみたいと思っているみなさんは、ぜひこの機会に街中に繰り出してみてはいかがでしょうか。

チケット販売所

【前売券】町観光協会（役場産業課内）、参加各店、帯広観光情報センター、勝毎サロンの
【当日券】町産業振興会館1階（居酒屋くるぱん北隣）

開催時間

午後5時～9時30分
※臨時営業店は午後4時～
※スナックは閉店まで

参加店舗

（駅前常設店）
げんや、居酒屋もり、石松すし、おさんぼカフェ、吉林家、そば処せきぐち、そば処みなとや、鳥せいの新得店、居酒屋くるぱん、スナックふうせん、パブスナック愛里、ラ・ネージュ、ニユー銀河（臨時営業店）
共働学舎新得農場ミントル、ボンジヨルノン、新得そばの館、小さな森のレストラン、ポパイ、上田精肉店、十勝サホロリゾートホテル、ロッキーマン勝勝店

また、「真打ち 柳家三語楼 落語独演会」が午後5時30分から町公民館で開催されます。そバルのチケットを持参すれば無料（一般客は前売り400円、当日500円）。「食べて・飲んで・笑って」過ごす一夜を存分に楽しんでみては。（問い合わせ先）
町観光協会 TEL 64-0522

しんとく 歴史歩 No.11

新内バツタ塚

明治12年（1879）に十勝管内中川郡の一部で発生していたトノサマバツタは、翌明治13年8月になると河西・中川両郡で大発生となり、大群となって日高管内を経て胆振管内へ飛来し、一群は海岸沿いに虻田方面へ、もう一群は札幌方面を襲いました。その様子は、音を立てて大風が林の木を揺り動かすようであり、またたく間に数百万、数千万のバツタが周辺を飛び交い、太陽が日食のように陰ったといわれます。地表は見渡す限りバツタで覆われ、足の踏み場もありませんでした。バツタが去った後は、青い物が一つも見当たらず、一面は剥ぎ取ったように地面が露出しました。作物は勿論のこと、外に干してある衣類までも食い尽くすという異常さでした。バツタは明治14年5月にも発生し、その勢いは前年に倍するも



新内バツタ塚 平成24年8月28日

のがあり、被害も激しいものでした。開拓使（明治15年からは札幌県と農商務省）は駆除費を計上して防除に努めましたが、バツタの害はさらに明治17年まで続き、防除費も膨らんでいきました。

新得町での駆除は、明治17年6月1日から同年8月14日にかけて行われました。発生地は佐幌川流域と佐幌岳山麓に集中していて、この時駆除したバツタの卵や成虫を埋めた土盛りが新内にバツタ塚として残されています。バツタの大発生は5年間続きましたが、明治17年の全道的な長雨により卵が腐ってふ化しなかつたため、ようやく終わりをづけました。

新内に残されたバツタ塚は、開拓時代のことを現在に伝える貴重な史跡のため、新得町教育委員会では平成24（2012）12月に町の文化財に指定しました。

短歌

新得短歌会

ボクたちはアブラカタブラひらけごま
呪文唱えてなんとかするさ
岡田御狸様

講演は突風どとき吹きさけび
愛のおみやげ心にのこし
小野 恭子

鉢植えのカラーの花は黄色咲く
心たのしも我生かされて
高橋 幸子

花期終り芋環を刈る庭仕事
終活のやうに季節移ろふ
菊地 康雄

蝦夷梅雨の晴れ間に響く蟬しぐれ
つかの間の刻競う命を
荒木 風月

信州の上田城跡わきたてり
「真田丸」観し我もひとりぞ
小野 洋子

一族で耕す時代は豊かなり
子孫少なき現世の里
奇藤美代子

寒くても暑くてもなお人の子の
怨み節こそ尽きる暇なし
樋口かおり

俳句

新得俳句同好会

思い出の蓮を摘みに園見の手
片桐 波月

葱坊主音付の如く風ゆらす
高橋 民女

大十勝穂波がつくる麦の秋
月井 愁峰

大花火夜空弾ける高松祭
渡辺アヤ子

落の葉の小雨に揺れて黄昏れる
奇藤 青苔

斑雪消えぬ七月十勝岳
袴田ゆき男

クラス会冷夏にばやく隠居たち
大崎かずお

ねむる児にやさしく送る団扇風
八木 育子



9月のカレンダー

昨年の秋まつりお神輿の様子



9月の納期限は 固定資産税第3期、国民健康
保険税第3期、後期高齢者医療保険料普通徴収第3期、介護保険料
普通徴収第3期、上・下水道使用料(8月～9月分)
25日まで

1 木	健康相談(屈足) 10:00 消防団西ブロック総合訓練 (消防庁舎前駐車場ほか) 14:00 防災訓練(なごみ前駐車場) 10:00	11 日	くったり秋まつり	21 水	秋の全国交通安全運動～30日 健康相談・栄養相談(なごみ) 10:00 第21回しんとくフロアカーリング大会 屈足地区予選(屈足南小体育館) 19:00
2 金		12 月	第21回しんとくフロアカーリング大会 新得地区予選(町民体育館) 19:00	22 木	【秋分の日】
3 土		13 火		23 金	オダッシュ山町民登山会 移動図書館車かりかち号運行
4 日		14 水	健康相談・栄養相談(なごみ) 10:00 第21回しんとくフロアカーリング大会 屈足地区予選(屈足南小体育館) 19:00	24 土	第15回しんとく新そば祭り併催第22回 日本そば博覧会in十勝新得町 「全国手打ちそば屋台村」
5 月		15 木	健康相談(屈足) 10:00 寿教室(公民館) 10:00 第21回しんとくフロアカーリング大会 新得地区予選(町民体育館) 19:00	25 金	第15回しんとく新そば祭り併催第22回 日本そば博覧会in十勝新得町 「全国手打ちそば屋台村」
6 火	介護・ものわすれ相談(なごみ) 9:00 1歳6ヶ月健診(なごみ)	16 金		26 月	
7 水	敬老会(公民館) 10:00 健康相談・栄養相談(なごみ) 10:00 新得秋まつり	17 土	土曜おはなし会(図書館) 14:30 町内小学校陸上競技大会	27 火	
8 木	健康相談(屈足) 10:00 移動図書館車かりかち号運行 新得秋まつり	18 日	十勝カップ柔道大会 全十勝スポーツ少年団水泳交歓大会	28 水	健康相談・栄養相談(なごみ) 10:00
9 金	移動図書館車かりかち号運行	19 月	日本そば博覧会記念講演会(公民館) 13:30 育児の日 【敬老の日】	29 木	健康相談(屈足) 10:00 しんとくフロアカーリング大会 決勝大会(町民体育館) 19:00
10 土	くったり秋まつり 町民水泳大会(温水プールビバー)	20 火	乳幼児健診(なごみ)	30 金	

すくすく
赤ちゃん

今月は該当する赤ちゃんが
いませんでした。

～有料広告を募集しています～

あなたのお店のコマーシャルをしてみませんか？
このスペース(45cm×88cm・2枠)を広告用の枠
として開放していますので、ぜひご利用ください。
詳しくはお知らせしんとく7月号や、町ホームペー
ジ、または広報広聴係(64-0521)にご相談ください。
掲載料は1枠1回2,500円です。
※申し込みが2件を超える場合は、抽選となります。
申請書の提出等ありますので、ご相談はお早めに！